

七種寶玉

な
な

く
さ
の

ほ
う

ぎ
ょ
く

一、生いく玉たま

宇宙創生の意志を産む働きを感じる。
(右巻き天然水晶／30mm)

二、足たる玉たま

宇宙に必要なすべての存在が満ち足りていく働きを感じる。
(左巻き天然水晶／27mm)

三、死まかるがえしのたま返玉

宇宙に存在したものが破壊され、また創造の源に還る働きを感じる。伯家神道(白川神道)において、この世から霊界に行った者と呼ば戻す働きを象徴するものとして伝承されている。世界一の純度を誇る100万年前のアルメニア原産の黒曜石を素材として製作。
(アルメニア産の黒曜石／30mm)

四、道ちがへしのたま返玉

宇宙の創造・維持・帰趨を恒常化する働きを感じる。小数点以下14個の9が並ぶという、超高純度シリコンFZを素材としてつくられている。130億光年以上も遠くにある天体が放ったテラヘルツ波をとらえ、撮影することになった成功した素材を使って製作。
(高純度シリコン単結晶FZ／25mm)

五、稜みいつのたま威玉

稜威の「イツ」は、強烈、威烈の力の意味をもつ原始宇宙のエネルギーである隕鉄の働きを感じる。神々をはじめ、自ら躍動する時に「稜威の力」が強く発動し、躍動する。
(原始太陽系のかげらとしての隕鉄／約20mm)

六、産むすびのたま霊玉

地球の南極磁場エネルギーを感じる働き。南極の石は、5億年前に宇宙から降り注いだ隕石という説も。南極大陸の岩盤から採掘された石には、天地人において、人を介在して天地を結びつける、産霊の玉として地磁気エネルギーが満ち満ちている。
(南極大陸岩盤から採掘／25mm)

七、御みそぎのたま禊玉

「御禊玉」は、出雲は、花仙山のおもとで産出された碧玉(へきぎよく)を素材としてつくられている。現在では、出雲石は、ほとんど採掘されなくなり、とても希少な寶玉となっている。災難や邪気をはねのける、まさに(身禊祓)そのものの働きを体現できる。
(出雲石／25mm)

